

論文審査結果の要旨

論文提出者	(氏名) 坂口 結
論文審査委員	主査 尾崎正雄 印
	副査 池邊哲郎 印
	副査 沢 禎彦 印
論文題目	Effects of facial mask treatment are attributed to accelerated maxillary growth and inhibited counter-clockwise total rotation of the mandibular corpus: A structural superimposition study
<p>(論文審査結果の要旨)</p> <p>本論文は、反対咬合者における上顎前方牽引装置の治療効果について、女兒28名を対象に治療開始時および治療終了時の側面セファログラムにより研究を行ったもので、通常のセファロ分析に加えて、BjörkらおよびHarazonetisらが報告した上顎の縫合性成長、下顎頭の軟骨性成長、下顎骨体の回転を分離する方法を改良し、前方牽引群と対照群の各ベクトルおよび通常のセファロ計測項目の治療前後の変化量について平均値の差の検定および上下顎の回転量との相関分析が行われている。その結果、前方牽引群では対照群と比較して、上顎の縫合性成長の水平成分は有意に大きい値を、また、下顎骨体の回転は有意に小さく、時計回りの回転を示していた。さらに、治療前後の相関分析より、上顎の縫合性成長の水平成分と上顎の反時計回りの回転との間に有意な相関を認めた。これらの結果より、上顎前方牽引装置による上顎の縫合性成長の促進と下顎の反時計回りの回転の抑制は骨格性反対咬合の改善に寄与していると考えられた。</p> <p>この様な所見は、過去の動物実験による研究結果でものべられているが、患者を対象とした研究でその相関関係を示したのは本研究が初めてである。よって、本研究は、学位論文として適切であると判断された。</p>	